

なんたん

No. **40**

農業委員会だより

令和 元 年10月号

＼ **たくさん収穫できました!** ／



農業委員会のうごき	2
担当地区変更について 他	3
まちかど通信	4~5
地域農業を支える	6
なるほど! 知っ得メモ その1	7
なんたんあっちこっち 他	8

令和元年9月18日

胡麻郷小学校 稲刈体験

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail co-nougyo@city.nantan.lg.jp

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/shisei/126/index.html>

農業委員会のうごき

有害鳥獣処理施設について学びました

(管内視察研修：福知山市 中丹地域有害鳥獣処理施設)



福知山市では、捕獲したシカ・イノシシなどは、従来、埋設処分していましたが、埋設地の確保や労力の負担が大きな課題となっていました。そこで、平成25年に同様の課題を有する舞鶴市と綾部市の3市と京都府で「中丹地域有害鳥獣処理施設準備会」が設立され、平成27年8月に福知山市大江町三河地区に有害鳥獣専用の焼却処理施設が完成しました。その施設を8月23日に視察しました。

有害鳥獣の捕獲は、捕獲免許を持っている各地元の駆除隊員（猟友会に未加入の方も隊員）が行っています。処理施設への搬入方法は、鳥獣の死体をむき出しにして積んだ軽トラ等が地域内を頻繁に通行することを避けるために、指定のビニール袋に入れ、中丹地域管内13か所に設置してある一時保管施設（冷凍庫）に搬入し、週1回冷凍車で回収しています。施設のある大江町のみ、焼却施設へ直接持込むシステムとなっています。

当初の処理計画頭数は約4,000頭でしたが、平成28年度が2,648頭、平成29年度は7,305頭、平成30年度では7,525頭と当初より増加しており、今年も7,000頭を超えるようです。

今後の課題としては、耐用年数による更新やメンテナンスなど維持管理面や、このまま処理頭数が増加するのかわからないことが悩みとなっています。有害鳥獣対策としては、捕獲と防除の両輪での対策が必要であり、特に捕獲した後の処分は埋設処理が大半で、その労力負担も大きな課題となっています。

福知山市のような焼却処理施設の整備も有害鳥獣対策の一環として取り組みの検討を望みたいものです。

(取材：東野裕和 委員)



▲施設を見学する委員

若手農業者との交流会を実施



▲ワークショップのようす

6月27日に「若手農業者の意見交換」に重点を置いたワークショップ形式の交流会を行いました。3つの班に分かれ、それぞれに会長・農政部長・農政副部長・市農業推進課の若手職員を交えて、「獣害対策」「担い手不足」「ブランド化の推進」といった課題を模造紙にまとめ、全体で発表をしました。

ここで出た意見は市長に提出する意見書に反映させる予定です。今後も交流会を継続的にを行い、農政課題の改善策を探っていきたいと思います。

(文書：上田純二農政部長)

ご投稿お待ちしております！

みなさまから農業に関するご自慢の食の写真を募集しています！
また、食・農業に関する質問も受け付けています！
投稿方法は下記の通りです。※次号(41号)から掲載していきます。

投稿方法

- メール：co-nougyo@city.nantan.lg.jp 件名：農業委員会だより写真投稿
- 郵便：〒622-8651 南丹市園部町小桜町47 農業委員会事務局 宛て
※写真は返却しませんのでご了承ください。
- 記入内容：■名前 ■お住まい(〇〇町大字のみ) ■電話番号 ■写真についての概要・エピソード
：■農業委員会だよりのご意見・ご感想・農業委員会への質問など



自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、
すてきな情報もお待ちしております！

農業委員会事務局 ☎ 0771-68-0067

南丹市農業委員会 担当地区変更について

農業委員の担当地区に変更がありましたので、お知らせします。(朱文字の地区が変更箇所です。)



名前：人見 保夫 委員
住所：八木町氷所部々ノ木10
電話番号：42-3408
担当地区：氷所、青戸、**屋賀、北屋賀、西田、観音寺**



名前：田村 好司 委員
住所：八木町鳥羽鳥栄本56
電話番号：42-3340
担当地区：鳥羽、玉ノ井、美里、
室河原、木原、池ノ内、南広瀬、大藪、八木嶋、**八木、柴山**

食で園部藩をPR

今年、1619年に
小出吉親こいでよしちかが園部藩を開いて400年を迎える節目の年です。「園部藩立藩400年」をテーマにし、まちのイメージづくりや情報発信を強化することによって、南丹市の知名度向上を図っています。

唐板は、初代藩主小出吉親の祖父が豊臣秀吉の朝鮮出兵に従軍した際、家臣が小麦粉とあめで作ったのが始まりとされるニツキ味のせんべいです。今回は特別に「園部藩立藩400年」パッケージを作っていました。

また、京都のお土産として有名な京名物八ッ橋も井筒八ッ橋本舗新光悦店とのタイアップで「園部藩立藩400年」の文字を入れていたでいています。いずれも、道の駅「京都新光悦村」で入手することができます。是非とも、ご賞味ください。



京名物 井筒八ッ橋



かどや老舗「唐板」

(出典…南丹市秘書広報課)

地元で活躍されている方や農業に関する取り組み、
また、日々の生活に密着したまち情報をお伝えします！



業を通じて何か健康づくりができないかと思
い、取り組み始めました。
講演会や本などで知識を得ており、日頃栽培
している水稲に加えて、身体にいいとされているクワイ
モ・玉ねぎ・唐辛子・ゴーヤなどを栽培し、食生活は自
分が育てた野菜が中心になっ
ています。それらのおかげ
か、最近では風邪や腹痛の頻
度が減ったそうです。(※個
人差はあります)

娘さんやお孫さんにも健康
的な食生活を送ってほしいと
の思いで、日々栽培に力を入
れています。
みなさんも今一度、食生活
を見直してみてもいいかがで
しょうか。

(取材：吉見有正 委員)

自然食品で健康づくり
くりはら けいじ
栗原 慶次さん
(園部町曾我谷)

栗原さんは農業の傍
ら、自然食品による健
康づくりに興味を持
ち、いろいろな勉強を
され、実践されていま
す。

自然食品による健康
づくりに興味を持った
きっかけは、元々体が
弱かったこともあり、
自分が今やっている農

古民家食処
みかみ
美・火水

(八木町神吉)



当店は、平成30年5月より八木町神吉にて営
業を始めました。夫婦で宇治市から移住して来
ましたが、地元の方々には、馴染みの無い私た
ちを受け入れてくださり、また、凄く親切にし
て頂いております。

提供している料理の食材は、神吉のお米と園
部・八木で採れた野菜を使用しており、そのお
いしさを多くの人に知っていただきたいと思っ
ています。

ここ神吉は、他の地域から車・バイク・自転
車で来られる方が多い所です。よく、店内で地

元の方と他の地域の方が交流
されて仲良く話されている場
面があり、ここで食処をやっ
て良かったと思う瞬間です。
これからも、地元の方に親し
まれる努力を続けていくとと
もに、他の地域から来られる
方には、神吉の豊かな自然と優しい
地元住民の事を知って頂き、頻繁に
神吉に来たいと思ってもらえるよう
に、食を通して、取り組ん
でいきたいと思っていま
す。
自然豊かな場所にある食
処です。是非お立ち寄りく
ださい。

(文書：秋山 宏さん
あきま ひろし)
取材：川勝芳明 委員)



営業時間
11時～15時 (日・月・火・木)
11時～15時・18時～23時 (金・土)
定休日 / 水・第三火曜



地域の憩いのカフェ

くりくりぼうず

(日吉町胡麻)

くりくりぼうずは、JR山陰線の胡麻駅のすぐ近く(ロータリー横)にある喫茶店です。

胡麻地域は、少子高齢化が進む一方で移住者も多く、新旧の住民が暮らす町ですが、駅前に商店や飲食店はあまりありません。店主である栗田静子^{たしずこ}さんは、駅前を少しでも活気づけたいという思いと、電車の待ち合わせにも利用してほしいという思いから、15年前に喫茶店をオープンしました。

人気メニューはモーニングサービスのトースト・サラダとコーヒーのセットであり、常連さんはよく注文されています。

コーヒーをお客さんに出すときにも「元氣の出るコーヒーをどうぞ」と声掛けがあり、とても明るい店主です。

店内には地域の行事を知らせるポスターが掲示されていたり、地元の方



麻駅周辺にお越しの際には、いかがでしょうか。(取材：谷口定己 委員)

方が採れたての野菜を持ってきて朝市の場になったりと、地元の方の交流の場や情報・元氣を発信する場であるとともに、心休まる憩いの場にもなっています。胡麻駅近くには、立ち寄ってみては



人気メニューのモーニングサービスです

～「ゆったり生活」を求めて～

あだち 文勝さん

(美山町大野)

たそうです。

苦労していることは獣害であり、初めての収穫を目前にして、イノシシにほとんど食べられてしまい、悔しがっておられました。そのような経緯があり、電気柵を新たに設置されました。

今年も米作りができませんでしたが、農機具も揃ってきましたので、来々からの作付けを今から楽しみにされています。また、収穫できたお米をよりおいしく食べるために収穫した米の一部を天日干しに挑戦したいという思いがあり、食味へのこだわりもしっかりお持ちのようです。さらには、鶏を平飼いたいという思いもあるそうで、色々今後の構想を練られています。

趣味は音楽だそうで、かつてはバンドを組んで、ギターボーカルをされていたそうです。爽やかな人柄で、地元のみなさんとの交流も深まっているようです。

(取材：藤原忠司 委員)



安達さんは昨年8月に東京から美山町大野へ移住されました。稲作を中心に京野菜の栽培や狩猟をしながら、大都会ではなく山村でゆったりした生活をしたかったと思い、移住を決心され



電気柵をネットに張ってからは獣害がなくなりました

地域農業を支える

あの人この団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動する
団体・個人を紹介します。

有限会社ユートピア空橋

(八木町空橋)



▲ユートピア空橋のみなさん

有限会社ユートピア空橋は、平成11年6月に45戸の農家全員の出資により設立しました。地区内の農地の2分の1を担い手に集積することを目標としており、農地の集積にあたっては、平成30年度より農地中間管理機構を活用し、地元に根ざした集積に努めています。

当社は、水稲栽培がメインであり、育苗から乾燥・籾摺りまでの全作業を行っています。またそれに加え、稲刈りや収穫した米の乾燥作業を委託する農家が増えており、その作業も行っています。収穫された米は大口販売のほか、1年間を通じて個人に販売することを重視しています。新庄地域の豊かな水と土壌に恵まれた地元米を一人でも多くの人に食べていただくことは大変うれしいことです。

経営にあたっては、農家の出資に応えられる経営体力を維持することが今後の課題です。現在は毎年利益を計上できる運営ですが、今後の設備機械の更新等を考えると、各種補助金等を有効活用しながら、健全経営を目指していくこと

とが求められています。

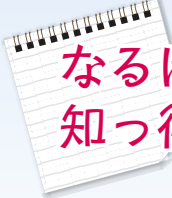
職員の高齢化が進む中で後継者確保が急務となっており、本年4月より30代・40代の社員計2名を採用し、担い手の育成に向けた第一歩を踏み出しました。平成11年に当社が設立されて20年が経ちましたが、個人農業者の高齢化、機械の老朽化等により、農家の受け皿としてのユートピア空橋への期待は一層大きくなると思います。農業の基本である農地を守り、米の生産・販売を通じて地域農業を支える一組織として、頑張る決意です。

(文書：代表者 若井啓利さん 取材：松本吉弘 委員)



▲所有している農機具です

- ・トラクター2台
- ・田植え機1台
- ・コンバイン2台
- ・乾燥機6台
- ・籾摺り機4台



なるほど！
知っ得メモ

No
1

農地の転用・売買・貸借等には 農業委員会の許可が必要です。



農地を売ったり、貸したり、転用（農地以外のものにする）するには農業委員会の許可が必要なのはご存知ですか？

え、そうなの！？

自分の農地なら許可や届出がなくても自由にできると思った……。



農地を売ったり、貸したり、転用するには「**農地法**」に基づく手続きが必要です。農地法は、耕作者の農地の取得を促進し、その権利を保護するとともに、優良農地を守り、農地の効率的な利用を図るために制定された法律です。

農地を耕作目的で
売買したり貸借する
ときは

3条申請

- 譲受人（借人）の耕作面積が、申請地を含めて一定以上ないといけないなどの要件があります。
※下限面積といい、南丹市では10a（1,000㎡）以上です。

自分名義の農地を
転用するときは

4条申請

- 農地の転用とは、農地を住宅、駐車場、資材置き場など農地を農地以外のものに用途を変更することです。
- 立地基準や一般基準などの要件があります。
- 市街化区域内の農地の転用は、届出の手続きとなります。

他人名義の農地を購入
もしくは借りて転用する
ときは

5条申請



農地の売買や転用等をお考えの場合は、地元の農業委員会委員または農業委員会事務局までご相談ください。

申請書の締切日は毎月20日（休日の場合はその前日）で、翌月の5日前後に開催されます農業委員会で審議され、許可書の交付となります。許可書が交付されるまでは、売買や転用等はできません。

申請書は農業委員会事務局の窓口にあります。また、南丹市役所のホームページからもダウンロードできます。

京都府立農業大学校 令和2年度学生募集 ～次世代の京都農業の担い手育成を行っています～

《願書受付期間及び試験日》

- （1期）受付：令和元年11月18日（月）～11月29日（金） 試験日：12月17日（火）
- （2期）受付：令和2年1月15日（水）～1月28日（火） 試験日：2月14日（金）
- （3期）受付：令和2年2月17日（月）～3月2日（月） 試験日：3月13日（金）

詳細は、京都府立農業大学校（綾部市）
塩見(0773-48-0321)まで

なんたん あっちこっち

とにかく広い南丹市。
南丹市のあちこちでは、その地域ならではの面白く、楽しい、また興味深い取り組みがされています。
そんな南丹市の、**あっちこっち**のできごとを紹介します。



ふなおか サマーイルミネーション (園部町船岡)



夏の夜に光輝いています

して平成29年からスタートし、今では船岡の行事として定着しています。
8月12日の午後7時30分から多くの人が見守る中、カウントダウンが行われ、イルミネーションが点灯されました。光のトンネルをくぐると、夏の夜を彩る光の芸術作品に感動の声をあちこちで上がり、写真を撮る人たちにぎわっていました。
これからも船岡のメインイベントとして続いていくことを期待しています。

(取材：平野清久 委員)

8月12日・13日の2日間、「ふなおかサマーイルミネーション」が盛大に開催され、多くの来場者で賑わいました。毎年8月11日に恒例で行われている「ふなおか夏まつり」の関連イベントと

委員ぶらり旅

旅人：川勝芳明 委員

「南紀白浜の旅」

8月26日に家族で、和歌山県白浜町へ出かけました。南丹市から車でおよそ3時間半で到着します。

海沿いにある絶景スポットとして有名な千畳敷へ行きました。砂岩という岩盤でできており、長い間、波に浸食され続けたことにより、現在のように複雑な形をした岩となっているそうです。普段見るこのできない景色にとっても感動しました。

他にも海鮮を味わうことのできるお店やゆつくりできる温泉に加え、子どもたちも遊べるレジャー施設もあり、そこでは、みんなの人気者であるパンダに会うことができます。

大人から子どもまで楽しむことができる白浜町に、また訪れてみたいと思います。



編集後記

秋晴れの下、胡麻郷小学校4年生13人が稲刈体験をしました。慣れない作業ですが、一生懸命頑張っていました。刈り取ったお米は、協力していただいた方をお招きし、おにぎりパーティーを開くそうです。(取材：谷口定己 委員)

訃報
令和元年6月14日、南丹市農業委員 平井一三氏(享年76歳)が逝去されました。平成16年10月から農業委員として地域農業の発展にご尽力いただきました。生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

- | | | | | | |
|------|--------|------|------|----|--------|
| 藤谷倉梅 | 谷岩宇 | 松福廣 | 吉寺田東 | 田平 | ◆広報委員会 |
| 原本内津 | 口城野 | 本嶋瀬勝 | 見尾中野 | 村野 | |
| みど | 義定久三 | 吉重芳 | 有義靖裕 | 好清 | |
| 忠司 | り裕明己雄治 | 弘樹仁明 | 正延二和 | 司久 | |

